

コープの
なかま

食べ物への感謝の気持ちを伝えていきたい

なんでもやってみよう

チャレンジ精神

神奈川県で、お子さんの出産を機にコープを始めた曾我さん。玄関先まで商品が届くシステムと、できるだけ添加物を避けたいと希望する曾我さんにとってコープの商品は魅力的だったそうです。

「第二子の妊娠をきっかけに、地元岩国へ戻ってきて、コープやまぐちへ加入。母が参加していたコープ委員会にも参加するようになり、コープ商品を試したり、同年代のママ友ができたりして、委員会活動を楽しんできました。元々なんでもやってみようという性格なので、食べることも大好きなので、今回リポーターを勧められてやってみようと思いました」。

たくさんの蜂に囲まれて

5月、曾我さんがリポートしたのは岩国市周東町にある「ビ庵」。昭和初期から養蜂業を営む「ビ庵」では、自社で採れたハチ

ミツを原料の中心として、様々なオリジナル食品の開発・発売をしています。

「いつも看板を見かけていて気になっていたのですが、訪問するのが楽しみでした！ハチミツが大好きなので、お話が自然と弾む収録となりました。大迫さんご夫妻が経営されているのですが、養蜂をされる亮介さんと、ハチミツをいかに生かすかを考える蘭美さんの関係性がとても素敵で、二人三脚で頑張る姿はとてもいいなあと思いました」。

収録当日は実際に蜂の巣箱も見せてもらう場面がありました。

「みつばちに囲まれてすぐくぐりました(笑)事前に蜂に刺されない方法を念入りに調べたら、動く

と追いかける



▲この後採れたてのハチミツもいただきました。



▲息子の航生くんとオープンニング撮影の様子。



山口県産商品の魅力や笑顔をお届けする、JAGグループ山口の自主制作番組「うまいルみくつけた!」。番組では、コープやまぐちの組合員さんがリポーターとして出演しています。今回は、「うまいル」リポーターにチャレンジした曾我菜月さんにお話を伺いました。

と書かれていたので、ずっと固まったまましゃべってしまいました。ディレクターさんからは平気そうに見えたよつで『怖くないんですか?』と聞かれましたが、『めちゃくちゃ怖いすよ!!』と答えました(笑)「

消費者目線だからできること、感じたこと

「ハチミツスプーン」杯で、蜂が一生働いて採る量なんだそうです。蜂の寿命は春の一番働き盛りのときに1週間程度だそうです。『ひゃー! 大事に食べないと!』と思いましたが、『ハチミツは人間には作れない』と亮介さんがおっしゃっていたのですが、本当にその通りだなあと。今度からハチミツをいただく度に、たくさんのみつばちを思い出して、感謝していただきます」と曾我さん。



▲大迫さんにインタビューする曾我さん。



曾我 菜月さん▶

「今回、1つの食べ物について詳しくお話を伺うことで、その食べ物に対する愛着や、感謝の気持ちを感じるようになりました。子どもとハチミツを食べる際には、「これは蜂さんが一生懸命集めたんだよ」と、食べ物への感謝の気持ちを忘れないことを子どもたちに伝えていきたいです。取材先が地元なこともあり、アットホームな雰囲気です。リポートできたことは、プロではない私だからできたことかなと思います。友人との話題のネタにもなりますし、口「口」ミ効果で消費が増えるのと良いなと願っています」。

ぜひご覧ください!

うまいみ~つけた!

Tysにて
毎週土曜日
17時24分~
好評放送中!!



みんなのよい食プロジェクト

放送時間は、番組編成の都合により変更になる場合がございますので、ホームページでご確認ください。

うまいみ
公式HPは
こちら▶



うまいみ
Twitterは
こちら▶



コープやまぐちの組合員さんがリポーターとして登場

はちみつかけ放題ソフトクリーム